

令和4年度 浜松歯科衛生士専門学校 事業報告

新型コロナウイルス対策を行いながら対面授業を大幅に増やし、状況に応じオンライン授業を行いました。臨床実習については感染対策を講じ、会員診療所のご協力を頂いて計画通りに実施できました。臨地実習では、障がい者施設実習は全て中止となりましたが、高齢者施設実習は一部実施、小・幼健康教育実習、浜松市健康増進課実習などは感染対策を講じ令和3年と同様の形で実施しました。歯科口腔外科実習は新たな受け入れ施設が増え、4施設に分散して実施することができました。

感染対策を継続しつつ、歯科衛生士養成校のガイドラインを遵守し、講義・実習ともに歯科衛生士として必要な知識と技術を学生が習得できるように努めました。

コロナ禍での経済的・学生の支援では、修学支援新制度は19名、専門実践教育訓練給付金・教育訓練支援金は5名、日本学生支援機構奨学金は39名の学生が活用し、コロナ対策で実施された大学生等の学びの継続支援事業補助金は38名の学生が支援を受けることができたように努めました。アルバイトについては、申請による許可制を継続・徹底しました。

学生の学習支援や学校生活の相談などを本校教職員と学校部が連携し取り組むことができました。歯科衛生士国家試験は難易度が高くなるなかであっても、卒業生39名全員の合格をはじめ、地域の歯科保健医療に寄与すべく歯科衛生士として全員就職することができました。

本校の学校方針を見直し、項目ごとに整理した新たな3ポリシーは、受験生とその関係者や本校学生への周知だけでなく、教職員が日常の教育・業務に活かすために理解を深められるように努めました。

次年度新入生(41期生)は3次試験まで実施しましたが定員を1名満たすことができませんでした。

1. 歯科衛生士の育成・輩出が目的であることを念頭にいた学校作り

- ①オンライン授業と対面授業のバランスに配慮するなど、密を作らずコミュニケーションを保つように努めました。
- ②学生生活に潤いを持たせるため、クリスマス会、お楽しみ会等、状況をふまえて工夫して実施しました。また3年生の修学旅行は感染状況を勘案し、大阪(USJ)・京都(北野天満宮・嵐山散策)を1泊2日で行うことができました。
- ③自分の行動が本人だけではなく家族・同級生・学校・社会に与える影響について考え、自制心を学ばせました。

2. 学生教育に必要な、施設・設備の環境整備

レントゲンのイメージングプレート上で撮影されたX線画像を読み取り、デジタル画像として表示できるIPスキャナーを導入しました。

歯科口腔外科実習の充実により、実習に赴く学生のための抗原検査キットを常備し、いつでも検査ができる体制を整えました。

インフルエンザ・新型コロナウイルス等の感染予防に、各教室に大型の空気清浄機を設置しました。

学生用のパソコンについて台数を増やし、第1セミナー室、第2セミナー室でも利用できるよう整備しました。

3. 教職員の資質向上

専任教員・非常勤教員・講師・臨床実習指導担当者が連携し、教育内容の精選、指導法の改善に努めました。

①職場内外研修の実施と参加

- ・専任教員研修会、専任教員学術研修会にオンラインおよび対面の研修で参加しました。
- ・教務主任による、各専任教員の行う授業の教授支援を行いました。
- ・専任教員の授業の質の標準化を目的とし、カウンセラーとの個別面談を実施しました。

②講師会は新型コロナウイルスの感染状況を勘案し対面とオンラインの併用で行い、「学科試験の状況と問題作成のポイント」について共有することができました。

臨床実習指導担当者会は対面により実施することができ、「今どきの実習生をどう育てるか」をテーマに特性を生かす指導について共有することができました。

4. 学生募集の充実

オープンキャンパスは計4回実施し、内容も通常通りに戻すことができ、参加者も在学生との懇談の場を設けることができました。また会場・高校ガイダンスでは、他校・他医療系職種との違いを明確にし、本校と歯科衛生士の特色について広報活動を充実させることができました。

5. 本会学校部との連携・協力

チューターと専任教員との連携、臨床実習対策担当者会、各種学校行事等協力。
卒業生への求人情報案内等、本会学校部復職支援事業に協力しました。

6. 歯科衛生士会・同窓会の活動に協力

静岡県歯科衛生士会、支部会主催の会議、研修会等の活動を支援しました。

浜松歯科衛生士専門学校同窓会の役員会、総会、オンライン・対面によるハイブリッド方式での卒後研修セミナー、同窓会報発行などの活動を支援しました。

7. 外部組織との交流をはかる

豊橋歯科衛生士専門学校との交流会は、本校を会場として開催し、歯科衛生過程の指導法、臨地実習の施設と実習内容、入学試験等の情報交換を行い、交流を深めることができました。

静岡県歯科衛生士学校協議会の活動では歯科衛生士職業告知のリーフレットを作成し、静岡県歯科医師会の協力により県内全会員歯科医院に配布することができました。表紙のイラストは本校学生が作成したものを採用し、高校生等に親しみのあるものを目指しました。

静岡県職業教育振興会に調査等の協力を行いました。

日程等

1. 授業実施

第1学年	授業時間	955 時間 (47 単位)	行事他	109 時間	計 1,064 時間
第2学年	授業時間	1,010 時間 (39 単位)	行事他	168 時間	計 1,178 時間
第3学年	授業時間	837 時間 (30 単位)	行事他	690 時間	計 1,527 時間

(1) 臨床・臨地実習

- ① 臨床実習 (65診療所) 1年 7日 5月中旬、2月下旬～3月上旬
2年 46日 11月～2月
3年 66日 4月～10月
- ② 健康教育実習 小学校 8校(3日間) 6月上旬
幼稚園 7園(3日間) 6月下旬
- ③ 歯科口腔外科実習 3年 5月～9月
浜松医科大学附属病院 浜松医療センター
浜松赤十字病院 十全記念病院
- ④ 摂食嚥下機能訓練実習 3年 浜松医療センター 5月～9月
- ⑤ 浜松市健康増進課実習 3年 4月～9月
- ⑥ 矯正歯科実習 2年 (3診療所) 12月～2月
- ⑦ 障がい者施設実習 2年 1月～2月(実施できず)
- ⑧ 介護老人保健施設実習 3年 5月～10月(希望者のみ実習)
※実習できないものについては、歯科医院での実習で時間数を補填した

(2) 介護職員初任者研修(選択制)

春休み5日、夏休み10日、自宅学習

(3) 行事等

- ① 入学式 4月7日(木)
- ② 防災訓練 4月、9月
- ③ 健康診断 4月
- ④ 浜松医科大学解剖実習見学 4月28日(木)
- ⑤ 運動会(ボウリング大会) 7月7日(木)
- ⑥ 研修旅行(1年・2年)[日帰り] 9月28日(水)
- ⑦ 戴帽式 10月6日(木)
- ⑧ 修学旅行(3年)[1泊2日] 10月26日(水)、27日(木)
- ⑨ 春 Semester 試験 7月、9月
- ⑩ 秋 Semester 試験 2月
- ⑪ 卒業試験 I・II 12月、1月
- ⑫ 歯科衛生士国家試験 3月5日(日)
- ⑬ 卒業式 3月9日(木)

2. 学生募集

- | | | | | |
|---|-------|-----|-------|------------|
| (1) 市内及び西部地区高等学校の訪問 | | | 5月～3月 | |
| (2) 進学(専門学校)説明会・相談会への参加 | | | | |
| 業者主催のアウト等会場及び高校でのガイダンス | | | 4月～3月 | |
| (3) 募集活動 高等学校約 60 校 学校案内及び募集要項、ポスター配布 ホームページの活用 | | | | |
| (4) オープンキャンパス | | | 5月～8月 | 4回 |
| (5) 学校見学 | | | 随時 | |
| (6) AO 入試 | エントリー | 6月 | 入学試験 | 9月 18 日(日) |
| (7) 推薦入試 | 願書受付 | 10月 | 〃 | 11月 6日(日) |
| (8) 一般入試前期試験 | 〃 | 10月 | 〃 | 11月 6日(日) |
| (9) 一般入試後期試験 | 〃 | 1月 | 〃 | 1月 29 日(日) |
| (10) 一般入試 3 次試験 | 〃 | 3月 | 〃 | 3月 19 日(日) |

3. 会議実施

- | | |
|----------------------------------|-----------------|
| (1) 学校運営委員会 | 5月、7月、10月、1月、2月 |
| (2) 教務委員会 | 毎月1回、2月・3月2回 |
| (3) 学校関係者評価委員会 | 3月 30 日(木) |
| (4) 講師会 | 9月 29 日(木) |
| (5) 臨床実習指導担当者会(院長・指導担当歯科衛生士) | 10月 28 日(金) |
| (6) 学校役員会(校長、副校長、教務主任、教務副主任、事務長) | 必要に応じ実施 |
| (7) 教職員会 | 毎月1回及び必要に応じ実施 |
| (8) 専任教員打合せ会(専任教員、非常勤教員 全員) | 月1～2回 |

4. 外部組織交流

- | | |
|----------------------|---------------|
| (1) 豊橋歯科衛生士専門学校との交流会 | 8月4日(木) 本校 |
| (2) 静岡県歯科衛生士学校協議会 | 5月9日(月) オンライン |